



## 泌尿器系疾患に気をつけよう



年の瀬の寒さの身にしみる季節となりました。  
ワンちゃんネコちゃんも私たちと同じように、  
冬には体調を崩しやすくなります。  
今回は冬によくみられる病気として、泌尿器系  
の疾患をご紹介します。



### <どうして冬に多いの？>



泌尿器とは、おしっこの排泄に関わる腎臓や尿管、膀胱や尿道のことを指します。泌尿器は血液をろ過して老廃物を尿として排出すると同時に、ミネラル分や水分を排出・再吸収する働きを持っています。

寒い冬になると、動物も人と同じようにあまり動かたがらず、**運動量が減少**しがちになります。それに伴い**飲水量が減少**し、**おしっこの量も減少**します。

それに伴う病気として尿石症や膀胱炎などが挙げられます。尿道の短いメスは膀胱炎になりやすく、反対に尿道の長いオスは結石が詰まる尿道閉塞を起こしやすいといわれています。

### <病気かな？と疑うべきサイン>



- ・ 排尿の時間が長い、いきんでも出ない

ちよろちよろと少しずつ排尿する、断続的に出してはやめて、出してはやめてを繰り返している子は排尿時に痛みを感じている可能性があります。いきんでも尿が出ない時は、結石などで尿道がつまっていることも考えられます。ネコちゃんではトイレの時間が長い場合は注意が必要です。

- ・ 尿の色がいつもと違う

健康なワンちゃんネコちゃんの尿の色は淡黄色ですが、**濃い黄色**や濁った色、**赤**や**茶色**の血が混じった尿が出てきた時もなんらかの病気のサインである可能性が高くなります。正常な状態の尿色を知っておくことが重要です。

## <どうすれば予防できる？>



### おしっこを我慢させないこと！



膀胱におしっこがたまっている状態が長くなるほど、膀胱炎などのリスクが高くなります。

お散歩でしかおしっこをしないワンちゃんは、大雨や積雪といった天候状況により外に出られない日は我慢してしまいます。

お家の中でもおしっこができる習慣をつけていきましょう。

寒さでトイレに行かなくなるネコちゃんは、トイレを暖かいところに設置するなどの工夫が必要です。

### とにかく水分を摂取してもらうこと！



こまめに新鮮な水に替える、水の器を増やす、肉や魚を茹でた汁で水に風味をつけるなど、水分の補給をしっかりと行える環境を整えましょう。

水分含有量の多いウェットフードにかえることで食事から水分補給することも可能です。



## <さいごに>

わんちゃんねこちゃんの様子を常に気にかけるようにしましょう。少しでも異常を感じたら、迷わず受診するようお願い致します。



### 年末年始の診療時間変更のお知らせ



**12月31日(土)～1月3日(火)**

午前 8:30～11:30

午後 13:00～15:00

1月4日(水)以降は平常通り診察いたします。

ファミリープラクティス・フードショップは1月1日～1月3日まで休みとなります。

